

白い花の開くように

松野弘子

“お母さん 来たよ!!”

ケアハウスの引き戸をあけ
元気な声で呼びかける
ひんやりとした空気が
流れてくる

ベッドの傍らに屈み込んで
“ハイイ お母さん
今日も一日一善
につこりよー”と

両手で頬を包むと

寝たきりの

生きているのか

死んでいるのか

さっぱりわからなかったあなたが

目を瞑ったまゝ

歯の無い口を大きくあけて

白い花のゆっくり開くように

声もなく笑う

私も笑う

あなたの冷たい頬に

私の頬をくっつけ

“ホーラ

ペッターンコー!!”と

あなたの小さな娘になって

笑う